

尊王攘夷

【そののうじょうい】

天皇を尊崇し夷狄（いてき）を排斥しようとする思想。もともと別個の思想であったが、幕末期、幕藩体制の矛盾と諸外国の圧迫による危機感の中で両者は結びつき、次第に討幕運動へと展開、王政復古に至る幕末政治運動の指導的役割をになった。勤王攘夷。尊攘。

- 幕末辞典 -